

(4) 生活指導

1. 目 標

児童の発達段階を考慮して、学年別に基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、心身ともに健全な子どもを育てる。

2. 努力点

- ・子どもの表面的な行動だけでなく内面もとらえて指導する。
- ・具体的な指導や話し合い活動による指導を十分行い、最終的には、自主的に自分の生活を高めていける子どもを育てる。

3. 具体的な取り組み

全学年を通して、基本的な生活習慣を身につけさせる。

- ・生活アンケート、生活ノート等で一人ひとりの生活実態を知り指導に生かす。
きまりの意義、内容について理解させ、進んでこれを守ろうとする心を育てる。
- ・学級活動、委員会、児童会等と関連させて

不登校・いじめ等気になる子どもの様子を知り、担任だけでなく、職員間の連絡を密にして指導する。

細かいことも見逃さず指導するとともに、小さい善行も見逃さず賞揚し励ます。
必要に応じて家庭訪問し、家庭と協力しあって指導する。

4. 全学年共通指導内容

あいさつや言葉づかいは心をこめて気持ちよく

進んで気持ちのよいあいさつや言葉づかいができるようにし、一人ひとりを大切にしよう心育てる。

歩こう静かに右側を

学校は心をみがき、体を鍛える場と考え、落ち着いて生活することができるようにする。
また校舎を静かに歩く習慣を身につけることによって、みんなの安全と自分の安全に気をつけて生活する態度を育てる。

合図で行動てきばきと

学習、遊び、清掃などをチャイムの合図でけじめをつけて行い、一日一日をゆとりと充実をもって過ごすことで規律正しい心と行いを身につける。

そうじはみんなで助け合って

自分の教室、自分たちの学校を自分の力で整理整頓したり、きれいにしたりして、美しい環境にし、みんなが仲よく気持ちよく生活できるように努力する心を育てる。

次の人のことを考えて

気持ちのよい集団生活をするための正しいルールやマナーを身に付ける機会として、トイレのスリッパをそろえたり、使った遊具をもとにもどしたりすることの大切さに気付く、進んで行動できる態度を育てる。